

# 小学校高学年における教科担任制の推進について

令和4年3月1日

小中学校課

中央教育審議会答申において、令和4年度を目途に義務教育9年間を見通した小学校高学年における教科担任制の本格的導入が必要とされたことを踏まえ、質の高い学習の保障による児童の学習内容の理解度・定着度の向上、および学校の働き方改革を進めること等を目的として、「令和3年度小学校高学年における教科担任制推進事業」を実施した。

令和4年度は、「学習指導の充実」「働き方改革の推進」「生徒指導の充実等」「中学校への円滑な接続」を視点に、学級担任間の交換授業を含む教科担任制に取り組み、各学校の活用状況や課題等を情報収集し、学力向上等につながる好事例を全県に発信する。

## 1 令和3年度小学校高学年における教科担任制推進事業について

### (1) 推進校の担任間の交換授業の取組

〔鳥取市立賀露小学校〕

- ・担任の専門性を生かし、5年生は国語と算数で担任間の交換授業を実施している。
- ・後期は、5年生で取り組んでいる担任同士の交換授業を他学年に広げている。

〔鳥取市立湖山西小学校〕

- ・5、6年生は外国語と社会で担任間の交換授業を実施している。

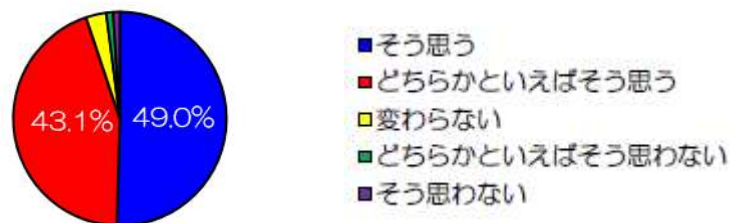
〔米子市立福生東小学校〕

- ・3年生から6年生の外国語や理科は、すべて専科加配等の級外で担当している。
- ・6年生（3クラス）の国語、社会と道徳、算数は、担任間の交換授業を実施している。

### (2) 推進校の実施状況アンケートの結果〔令和4年1月実施：回答（推進校7校 51名）〕

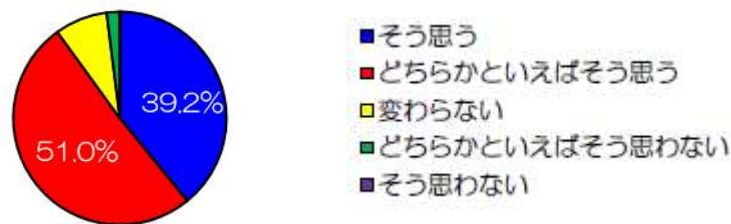
#### ◆児童の授業の理解度の向上について（肯定的回答：92.1%）

〔教科担任制を導入することによって、児童の授業理解度の向上につながると感じますか。（51件の回答）〕



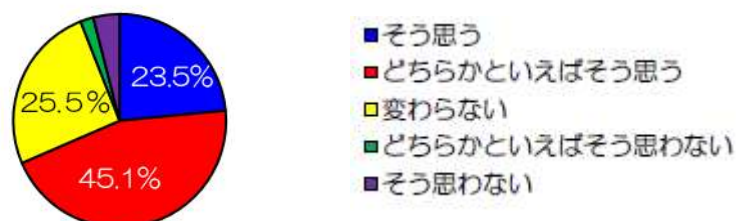
#### ◆授業の好きな児童の増加について（肯定的回答：90.2%）

〔教科担任制を導入することによって、授業の好きな児童が増加すると思いますか。（51件の回答）〕



#### ◆教員の時間外勤務時間の縮減について（肯定的回答：68.6%）

教科担任制を導入することによって、教員の時間外勤務時間の縮減につながると感じますか。（51件の回答）



### (3) 成果と課題

#### 【教員の成果】

##### 〔学習指導の充実〕 ※学力向上に向けて

- 教材研究が充実し、質の高い授業が提供できる
- 同じ教材での複数回授業により指導が充実する
- 専門的な知識や指導法を意識するようになる
- 授業時間を意識し、焦点化された授業になる
- 学習規律が学年で統一できる

##### 〔生徒指導の充実等〕

- 学校全体で児童を見守っていく意識が高まる
- 学年主任を中心に担任同士の会話が活発になる

##### 〔働き方改革の推進〕

- 教材研究、準備の時間が短縮できる
- 空き時間が増えることで、学級事務が効率よくできる

##### 〔中学校への円滑な接続〕

- 児童が中学校での学習・生活に順応しやすい

#### 【教員の課題】

- 担当教員の専門性の向上
- 各学校の希望に沿った専門的な人材の配置
- 教員の業務内容の精選

#### 【児童の感想】

- いろいろな先生と話ができ、相談もできるようになった
- 専門の先生に教えてもらい、授業が楽しく、おもしろくなった
- 先生が代わると気持ちの切り替えができる

## 2 令和4年度小学校高学年における教科担任制推進事業について

### (1) 国の動向

- ◇各地域・学校の実情に応じた取組が可能となるような定数措置により、特定教科における教科担任制の推進（専科指導の充実）を図ることを中心に考えること。
  - ◇優先的に専科指導の対象とすべき教科は、外国語、理科、算数及び体育とすること。
  - ◇特定教科における教科担任制の推進を図ることを中心に定数措置を進めることが適当であること。等
- ※教科担任制推進の趣旨・目的の実現に向け、多様な実践を参照する等、不断の取組改善と校長のマネジメント力の発揮に期待するも示されている。

※「義務教育9年間を見通した教科担任制の在り方について（報告）」〔令和3年7月〕

### (2) 事業内容（令和3年度より継続）

#### 【鳥取県における教科担任制について】

- ①特定教科（外国語、理科、算数及び体育）等における教科担任制に取り組み、小学校専科加配及び級外教員による効果的な指導方法の検証・推進を図る。
  - ②学級担任間の交換授業（国語と算数、社会と理科等）による教科担任制に取り組み、交換授業による教職員や児童への効果及び指導方法の検証・推進を図る。
- 小学校及び義務教育学校（前期課程）の教職員を対象とした連絡協議会の実施
  - 学力向上等につながる効果的な取組の情報発信

## 【参考資料】

### 令和3年度 第2回小学校高学年における教科担任制推進校連絡協議会 記録

日時 令和3年12月2日(木)

午後2時30分から午後4時30分まで

参加校(参加者数) 35校(43名)

参加者 校長・教頭・主幹教諭・教諭(教務主任)

#### ～高学年の学級担任間の交換授業実践校の実践発表 意見より～

- ◇交換授業で他の学級に入った場合、それぞれの学級の生徒指導上の問題等の今の状況を知ることができ、学校や学年で情報共有しながら、すばやく対応できる。各担任も隣の学級を教えるという緊張が、自分自身の指導力や授業力、教師力の向上につながっている。
- ◇特にデメリットはないと思っている。最初は納得していなかった先生方も、今ではプラス思考で取り組んでいる。新採3年目の者が初の6年担任となり、非常に意欲的に取り組んでおり、更に自分が交換授業で担当している教科(国語)を極めたいと考えることができています。
- ◇交換授業はすべての先生にありだと考えている。たくさんの教科で交換するのもありだと考える。担任のやり方や価値観が絶対ではない。いろいろなやり方や価値観があることを、高学年の子どもに伝えることは大切なことだと考える。
- ◇毎年、新採教員がいて、メンター方式を導入しているため、交換授業は非常に有効である。教材研究の時間も確保できている。確実に空き時間が増え、時間削減につながっている。
- ◇学年全体で子どもたちを見ていく等の、小学校文化自体からの脱却も必要ではないかと考える。若手が苦しんでいる中で、学年団でフォローしていくことが交換授業ではできる。

#### ～学校規模に分かれての情報交換会より～

##### 〔中・大規模校〕

##### 高学年の学級担任間の交換授業について

##### <令和3年度の取組について(情報交換)>

- 5年生で体育と音楽・家庭科の交換授業を行っている。
- 6年生で社会と理科の交換授業を行っている。
- 5年生1学級、6年生は2学級であるため、6年生で交換授業は実施している。国語と算数は行っていないが、社会等で行っている。理科は専科教員で対応している。
- 5年生も6年生も3学級である。社会と理科、外国語と書写の交換授業を行っている。ただ、級外がないため、校内で1名休みがあると難しい。
- 5年生の音楽・体育・家庭科、6年生の音楽・図工・理科で交換授業を行っている。6年生は理科を持っている担任の時間が多くなるので、その分他教科を級外が持っている。
- 生徒指導上困難校であることもあり、同規模の学校に比べて級外の教員が多い。6年生のみ社会と理科の交換授業を行っている。交換授業よりも、専科教員による理科や中学校の英語教員が来校しての外国語の授業の充実を中心に取り組んでいる。
- 5・6年生の図工・家庭科・外国語は交換授業、5・6年生の理科は専科、3年生以上の音楽は級外で行っている。多くの授業を担当同士の交換授業や担任外で行っているため、時間割を組むのが大変である。
- 完全に交換授業での教科担任制は行っていないが、単元で交換している。まだ試行段階で、各学年で交換できそうなところで取り組んでいる。また、学期に1回か2回というように年度当初に計画を立て取り組んでいる。
- 学年で子どもたちを見ていくという考えで取り組んでいるが、経験が3年目以下の若い先生が多数いるため、交換授業に課題も見られる。それらを解決しながら引き続き取り組んでいきたい。
- 年度当初、交換授業を始めるにあたって、ベテランの先生が難色を示したことがあったが、「今までやってないことで心配ですが、やってみて良さを見つけましょう」とスタートした。

### <令和4年度の取組の構想について（意見交換）>

参加した多くの先生が、交換授業に取り組んでみたいという感想をもたれた。

- 来年度の国語と算数の交換授業は、個に応じた指導ができるのであれば、ありだと思う。
- 教科担任制は小学校の文化にないものであったが、交換授業による国語と算数もできると思った。また、他の教科も抱き合わせの仕方でも実施できる。
- 今年度は理科専科を中心に行ったが、来年度は交換授業も行ってみてみたいと思った。
- 推進校等の取組を参考に、国語と算数の交換授業を行ってみることも考えられると思った。
- 1年間、国語と算数を交換するのは、メリットもあるがデメリットも大きい。1学期ごとや単元ごと等のやり方を検討する必要がある。
- 国語と算数の交換授業もありだと思う。時期を区切る、校内研修の在り方を検討するなど行っていく必要がある。
- 他の学級のよさを知るためには、交換授業もよいと思う。小学校の文化のよいところは残し、変えるところは変えないといけないと思うので、国語と算数の交換もありだと思う。
- 交換授業にメリットを感じている部分もあるので、もっと広げてみたいと思っている。国語と算数の交換授業もやってみる価値はあると思う。担任の得意・不得意等も考慮しながら、子どもたちの学びによりよいものを取り入れていきたい。
- 高学年の担任の持ち時間は22時間程度であり、級外が一生懸命関わっている結果である。国語と算数の交換授業もありだと思うが、やり方は検討しないといけないと思っている。
- 国語と算数の交換授業もありだと思う。先生方の意向を十分に反映しながら交換ができるとよいと思う。また、本日参加の先生方の前向きな姿勢に非常に刺激を受けた。

### 〔小規模校〕

### <令和3年度の取組について（情報交換）>

ほとんどの学校が交換授業を行っておらず、好事例を聞いて来年度の参考にしたいという学校が多かった。

- 外国語専科があり、教頭、教務が出授業を行っている。特別な取組は行っていない。教科担任制の取組が知りたくて参加した。
- 級外が一人という状況の中、出授業を行っている。教科担任制ができているわけではない。小規模加配を利用している。
- 体育について、低・中・高学年で授業をしている。高学年については、音楽もしている。小規模サポートを利用している。高学年の担任の持ち時間数が25時間以下となっている。
- 小規模サポートを活用し、全学年で教科担任制を行っている。
- 5年生と6年生で交換授業を行っている。5年担任が体育、6年担任が音楽を担当している。会計年度職員が、家庭科を担当している。国語、算数の交換授業、教科の研究等について知りたくて参加した。

### <令和4年度の取組の構想について（意見交換）>

- 教科担任制が、児童理解等につながることもわかった。低・中・高学年の授業交換等、工夫をして教科担任制にチャレンジしたい。
- 学級減のため、加配があるかどうか大きい。低・中・高学年での交換授業や、上・下学年交換授業等、工夫してみたい。
- 職員の出授業の希望教科と専科教員の教科と一致するかわからないが、専科教員にお願いすることになる。
- 来年度の県の方向性（教科担任制導入、交換授業等）を校長から先生方に伝えておくことは必須である。この会の情報提供でもあったが、お試しでやってみてダメだったら戻すぐらいの気持ちでやってみるのもよいかもしれない。
- 来年度も専科にお世話になることになりそうだ。ただ、今年度でも、落ち着かない5年生と6年生で交換授業を行うのも全職員で子どもを見守るという視点ではよいかもしれない。校内でも検討していきたい。
- 1・2年、3・4年、5・6年の交換もあると分かった。ただ、低学年はやはり学級担任がしっかり見たいので中学年から取り組んでいくのもよいかもしれない。

# 令和4年度 小学校高学年における教科担任制の推進

小中学校課



## 教科担任制推進の目的

平成28・29年度及び令和3年度「小学校高学年における教科担任制事業」の成果を踏まえ、

①学習指導の充実 ②生徒指導の充実等 ③働き方改革の推進 ④中学校への円滑な接続 を視点に、鳥取県における「令和4年度小学校高学年における教科担任制」を県内の各小・義務教育学校（前期課程）で推進していく。



## 鳥取県における教科担任制の考え方

### ◇学級担任間の交換授業

担任同士による教科担任制の推進  
(国語と算数、社会と理科等を中心に)

### ◇専科教員の教科授業

専科加配及び級外教員による教科担任制の推進  
(外国語、理科、算数及び体育等)

### 【推進のための取組】

- 教科担任制に係る連絡協議会の実施
- 効果的な取組の情報発信



## 期待される効果

### <①学習指導の充実> ※学力向上に向けて

- 教材研究が充実し、質の高い授業が提供できる
- 同じ教材での複数回授業により指導が充実する
- 専門的な知識や指導法を意識するようになる
- 授業時間を意識し、焦点化された授業になる
- 学習規律が学年で統一できる

### <②生徒指導の充実等>

- 学校全体で児童を見守っていく意識が高まる
- 学年主任を中心に担任同士の会話が活発になる

### <③働き方改革の推進>

- 教材研究、準備の時間が短縮できる
- 空き時間が増えることで、学級事務が効率よくできる

### <④中学校への円滑な接続>

- 児童が中学校での学習・生活に順応しやすい

(平成28・29年度推進校、令和3年度推進校の報告より)



## 児童の感想

- いろいろな先生と話ができ、相談もできるようになった
- 専門の先生に教えてもらい、授業が楽しく、おもしろくなった
- 先生が代わると気持ちの切り替えができる

(平成28・29年度推進校、令和3年度推進校の報告より)

## ※学校規模に応じて教科担任制の指導形態を工夫する

### 【学級担任間の交換授業の例】

事例①	国	書	社	算	理	音	・・・
6年1組 担任A	A	A	A	B・F	A	G	・・・
6年2組 担任B	A	A	B	B・F	B	G	・・・
事例②	国	書	社	算	理	音	・・・
5年1組 担任A	B	B	A	C	G	H	・・・
5年2組 担任B	B	B	A	C	G	H	・・・
5年3組 担任C	B	B	A	C	G	H	・・・



## 課題

- ・教務主任が時間割を組むのが大変
- ・校内研究会の工夫が必要